

鋳工業

鋳工業生産の動き

平成 22 年の鋳工業生産指数の年平均は 102.6（平成 17 年=100）で、対前年比 14.8%の増加となりました。

これを業種別に対前年比で見ますと、一般機械工業 35.1%、電子部品・デバイス工業 32.1%、電気機械工業 25%、情報通信機械工業 24%、ゴム製品工業 20.6%、家具工業 20.5%、その他製品工業 20%、鉄鋼業 18.9%、窯業・土石製品工業 14.6%、化学工業 9.9%、非鉄金属工業 8.1%、鋳業 6.9%、金属製品工業 6.3%、パルプ・紙・紙加工品工業 4.5%、木材・木製品工業 4.3%、プラスチック製品工業 2.2%、食料品工業 1.7%、繊維工業 0.4%、とそれぞれ上昇しました。一方、石油・石炭製品工業△1.5%、電力・ガス事業△3.8%、輸送機械工業△4.8%、とそれぞれ低下しました。

図22 鋳工業生産者製品在庫指数

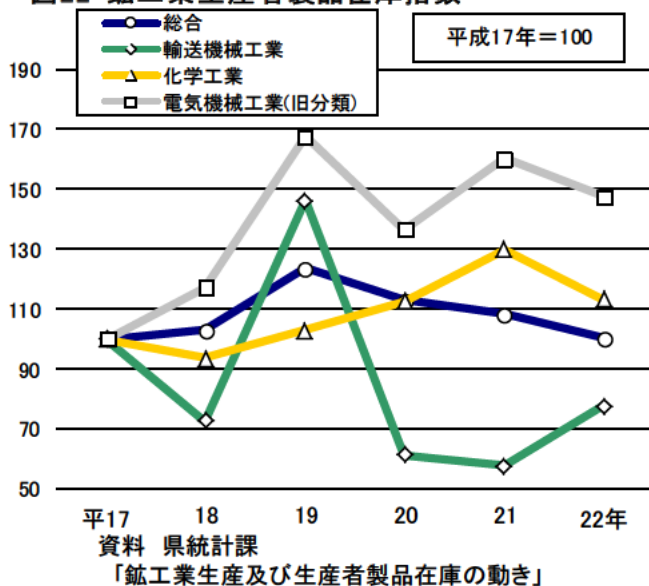
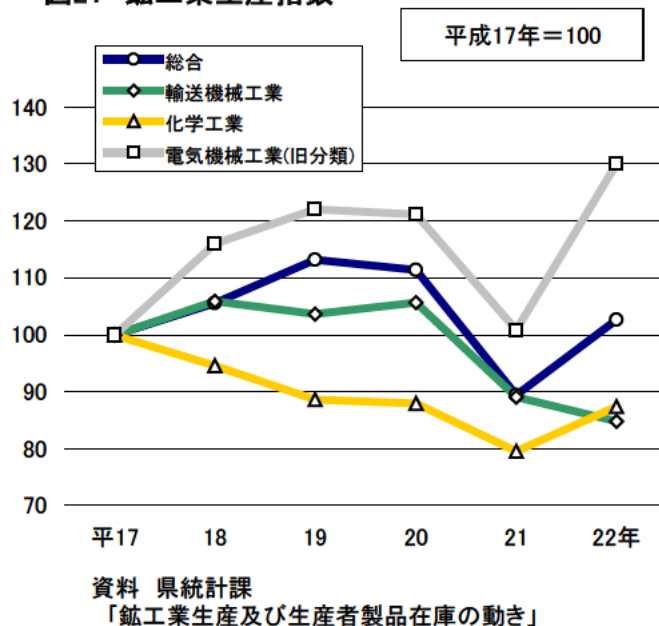


図21 鋳工業生産指数



また、平成 22 年鋳工業生産者製品在庫指数の年平均は 100.3（平成 17 年=100）で、対前年比 7.5%の低下となりました。

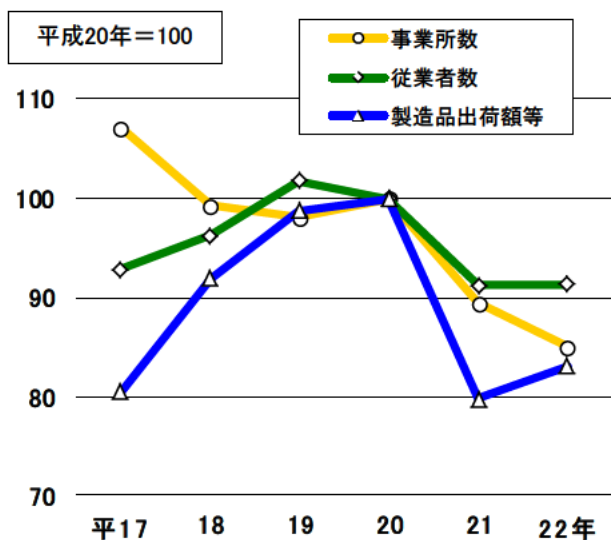
これを業種別に対前年比で見ますと、輸送機械工業 35.2%、ゴム製品工業 19.4%、鉄鋼業 5.1%、非鉄金属工業 1.7%、プラスチック製品工業 0.5%とそれぞれ上昇しました。一方、家具工業△4.6%、電気機械工業（旧分類）△7.8%、パルプ・紙・紙加工品工業△8.9%、木材・木製品工業△10%、石油・石炭製品工業△12.1%、化学工業△12.9%、繊維工業△12.9%、窯業・土石製品工業△13.2%、その他製品工業△14.3%、食料品工業△17.1%、鋳業△24.3%、金属製品工業△24.8%、一般機械工業△26.4%とそれぞれ低下しました。

平成 22 年工業統計調査結果

(1) 概況

平成 22 年 12 月 31 日現在の事業所数は 3,983 事業所、従業者数は 19 万 185 人、製造品出荷額等は 9 兆 7,647 億円となっています。前年と比べると、事業所数は 205 事業所（4.9%）減少、従業者数 171 人（0.1%）増加、製造品出荷額等は 3,901 億円（4.2%）増加しました。

図23 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



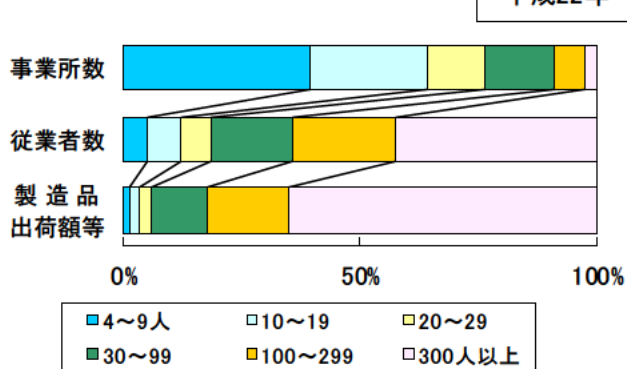
資料 県統計課「三重の工業」

(2) 従業者規模別にみた工業のすがた

平成22年の事業所数、従業者数、製造品出荷額等を従業者規模別で見ると、事業所は従業者規模の小さいものが大半で、従業者4~9人の小規模事業所が構成比で全体の39.4% (1,568事業所) を占めていますが、従業者数では全体の5.0% (9,529人)、製造品出荷額等では同1.1% (1,045億4,146万円) を占めているにすぎません。

これに対して、従業者300人以上の大規模事業所は構成比で2.2% (89事業所) ですが、従業者数では全体の42.3% (8万493人)、製造品出荷額等では同65.3% (6兆3,785億672万円) を占めています。

図24 従業者規模別状況



資料 県統計課「三重の工業」

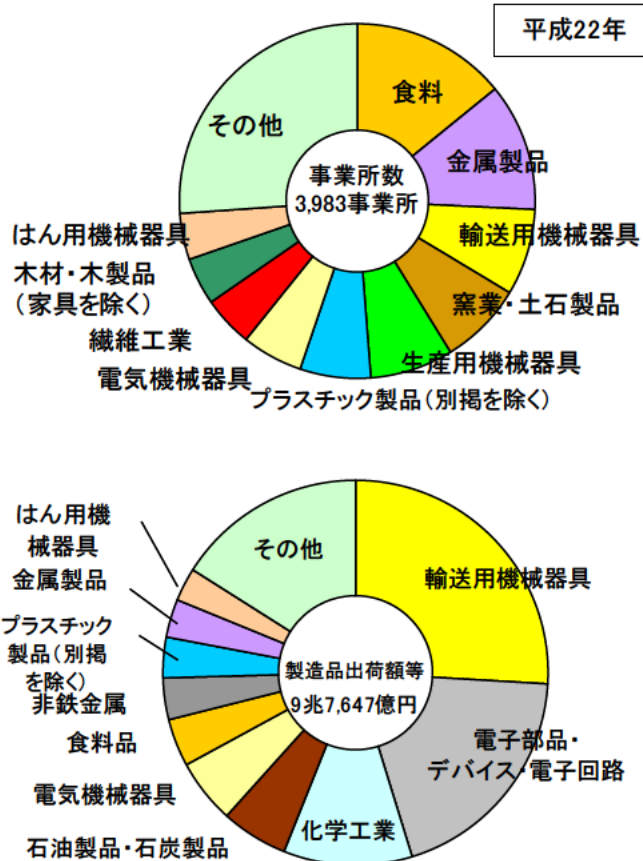
(3) 業種別にみた工業のすがた

事業所数では食料品製造業の占める割合が14.1% (562事業所) で最も高く、次いで金属製品製造業が11.6% (464事業所)、輸送用機械器具製造業が7.9% (314事業所) などとなっています。

従業者数では、輸送用機械器具製造業20.1% (3万8,261人)、電子部品・デバイス・電子回路製造業10.5% (1万9,931人)、食料品製造業9.0% (1万7,078人) などとなっています。

製造品出荷額等では、輸送用機械器具製造業が25.9% (2兆5,288億円) と最も高く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が19.3% (1兆8,865億円)、化学工業10.8% (1兆505億円) などとなっています。

図25 業種別事業所数・製造品出荷額等



資料 県統計課「三重の工業」